

海外生活 エッセー

シンガポール事務所

シンガポールの大統領官邸「イスタナ」とは

(一財)自治体国際化協会シンガポール事務所 所長補佐 石渡 喜彬 (東京都大田区派遣)

海外事務所では、現地の公休日に合わせて事務所がクローズするため、派遣元に勤務日の報告をすると「この日は休みだったの？」と驚かれることがあります。多民族国家のシンガポールでは、どの民族もそれぞれの行事を祝えるようにと、政府が平等に祝日を設けており、西暦正月、旧正月（チャイニーズニューイヤー）、イスラム教の祝日（ハリラヤ・プアサ）、ヒンズー教の祝日（ディーパバリ）といった4大祝日があります。これらを含めた年5回の公休日に合わせ特別公開されるのが、シンガポールの大統領官邸（通称 The Istana）です。

→ イスタナとは

イスタナは MRT Dhoby Ghaut 駅からオーチャードロードを Somerset 駅に向かって徒歩3分のところにあります。普段はシンガポール警察による厳重な警備体制が敷かれていますが年に5回だけ一般公開されています。

マレー語で「宮殿」を意味するこの施設は、シンガポールの現職女性大統領であるハリマ・ヤコブ氏の住居兼オフィス、また首相府のオフィスになっています。東京ドーム9個分ともいわれる約40ヘクタールの広大な敷地には、1869年に英国植民地政府によって建設された白亜のコロニアル調の官邸があり、各国首脳から大統領



噴水越しに望むイスタナの外観

に贈られた友好の品々が飾られているほか、敷地内には日本庭園や105mmの日本の大砲が置かれた Gun 日本製の大砲が展示された Gun Terrace Terrace など、日本とシンガポールの関係を想起させるエリアもあります。



私が訪問したのはちょうどイスラム教の断食明けの祝日である「ハリラヤ・プアサ」であり、イスタナを訪問するムスリムの方々を随所で見かけました。また、シートを敷いてピクニックを楽しんだり、木陰で本を読んだり、地元のシンガポーリアンや一般旅行者にとっても憩いの場になっていました。

→ イスタナ公開日

2019年のイスタナ公開日は以下のとおりです。今年イスタナが建てられてから150年を迎え特別な公開日が設けられる予定ですので、当地にお越しになるタイミングが合えば、訪問をご検討されてみてはいかがでしょうか。

- 2月6日：チャイニーズニューイヤー (Chinese New Year)
- 5月1日：レイバーデー (Labour Day)
- 6月5日：ハリラヤ・プアサ (Hari Raya Puasa)
- 7月28日：ナショナルデー (National Day)
- 10月6日：イスタナ150周年記念 (Istana 150 Commemoration)
- 10月27日：ディーパバリ (Deepavali)

(大統領官邸ウェブサイト：<https://www.istana.gov.sg/Visit-And-Explore/Istana-Open-House>)